

履修モデル

専攻	異文化コミュニケーション学専攻			
領域	異文化交流領域		英語教育領域	
履修モデル	モデル1	モデル2	モデル3	モデル4
専攻必修 3科目 6単位	キリスト教平和学特論(1・前) Research Project I (1・前) Research Project II (1・後)			
領域必修 3科目 6単位	異文化コミュニケーション学特論 I (1・前) 異文化コミュニケーション学特論 II (1・後) 比較人文学特論(1・前)		○英語教育学特論 I (1・前) ○英語教育学特論 II (1・後) ○英語教授法特論(1・後)	
授業科目 選択必修 5科目 10単位	国際関係特論(1・前) 社会言語学特論(1・前) 国際理解教育特論(1・後) 非言語コミュニケーション学特論(1・後)	国際理解教育特論(1・後) 日英翻訳実践(1・後) Theories and Practices in Western Rhetoric (1・後) 英米文学特論(1・後)	○異文化コミュニケーション学特論 I (1・前) △国際理解教育特論(1・後) ○Theories & Practices in Western Rhetoric (1・後) ○英米文学特論(1・後)	社会言語学特論(1・前) 非言語コミュニケーション学特論(1・後) Theories & Practices in Western Rhetoric (1・後) 日英翻訳実践(1・後)
	キリスト教学特論(2・後)	地域研究特論(Okinawan Studies) (2・前)	△地域研究特論(Okinawan Studies) (2・前)	キリスト教学特論(2・後)
論文指導 2科目 8単位	異文化コミュニケーション学特別演習 I (2・前) 異文化コミュニケーション学特別演習 II (2・後)		○英語教育学特別演習 I (2・前) ○英語教育学特別演習 II (2・後)	応用言語学特別演習 I (2・前) 応用言語学特別演習 II (2・後)
期待される進路	国内外の国際機関、NPO、NGO、JICA、マスコミ、国内外の大学院博士課程へ	県や市町村の国際交流窓口、一般企業、マスコミ、通訳・翻訳	中学校・高校の英語教員、国内外の大学院博士課程へ	通訳・翻訳、教育機関や一般企業、国際交流団体
※英語教育領域において、○印の付いた科目は教職課程専修免許状取得における必修科目、△印は選択必修科目(2科目4単位)を示す。				